Witzenmann GmbH

Östliche Karl-Friedrich-Str. 134
75175 Pforzheim, Germany
電話 +49 7231 581-0
ファックス +49 7231 581-820
wi@witzenmann.com
www.witzenmann.de

9143jp/2/02/20/0.2

WITZENMANN
managing flexibility

コンプライアンス ポリシー

WITZENMANN行動規範

はじめに

従業員各位
Witzenmannグループは、配管システムにおける振動及び膨張収縮等の変位吸収、流動媒体管理、およびアセンブリの補償に関する技術的解決手法を提供するグローバルリーダーです。私たちは、お客様とサプライヤーの為の経験豊富な研究開発パートナーです。
企業ビジョンと企業目標に加えて、Witzenmannグループガイドラインには、すべての活動の指針となる企業の指針と経営理念の原則も含まれています。これらの原則は、Witzenmannグループの社会的及び法人としての責任や、社内、お客様、サプライヤー、ビジネスパートナー及び競合他社との関わりの中での公平さと誠実さを持ち合わせた合法的な行為を表しています。これは、企業全体と個々の行動の規制の両方に適用されます。
このコンプライアンスガイドとWitzenmann行動規範を通じて、Witzenmannのすべての従業員は法的要件、社内ガイドライン、および基本的な倫理および国際基準の対象となることを意味しています。この行動規範は従業員が自ら率先して行動すべき主な範囲と概要を記しています。それ以上の具体的な雇用契約規則および契約は影響を受けません。
次の規則は、Witzenmannグループのグローバル従業員に適用されます。Witzenmannは規則違反を容認しません。私たちは、経営陣がリードし、Witzenmann行動規範を正しく理解し、フォローすることを望んでいます。
Witzenmann行動規範について具体的に監督者と十分に話し合えない場合は、次の上位レベルの監督者に連絡する権利があります。コンプライアンスオフィサー、会社のマネージングディレクター、またはWitzenmann GmbHのマネージングディレクターにいつでも連絡することもできます。

Pforzheim, 2017.12.15
Witzenmann GmbH

Andreas Kämpfe ドクター, 取締役会長
Philip Paschen 工学修士/経済工学修士、取締役社長
Eberhard Wildermuth ドクター, 取締役社長
Heiko Pott, Dipl.-Kfm., 取締役社長

責任ある、法を遵守する行動

私たちは、当社の事業と業務に適用される法律、会社の方針、基本的な倫理原則、および国際基準を厳守します。これには、当社製品を軍用攻撃兵器(陸海空)への使用から除外することも含まれます。また第三者に違法行為を促すことはありません。

これらの行動規範に違反すると、法的制裁または懲戒処分になります。

人権、労働基準、社会基準

私たちはそれぞれの業務範囲内で国際人権の保護を尊重し、支援し、人権侵害に関与しないよう努めます。差別や嫌がらせを容認しません。また、ビジネスパートナーが児童労働を雇うことも許可していません。私たちは結社の自由と団体交渉の権利(労働条件と労働条件に関する労働者との交渉)を尊重します。人種、性別、宗教、信念、障害、年齢、または性的指向による他者に対する差別は禁止されています。

環境保護、安全、健康

私たちは持続可能な環境の創造にコミットし、私たちの経済活動が将来の世代のために自然と環境を脅かさないよう努めます。詳細については、定期的に発行されている持続可能性レポートを参照してください。私たちは常に環境問題の予防原則に従います。各国の規制に基づいて、安全で健康的な職場環境を構築します。すべての従業員は、それぞれの業務範囲内で環境保護、労働安全、および個人の健康に責任を負い、適用される法律、規制、基準、および健康、安全、環境保護に関する内部ポリシーを遵守する必要があります。

利益相反

Witzenmann グループでは、私的利益と商業的利益を厳密に区別します。その兆候も同様です。具体的には次のとおりです。

- 親族(特に配偶者と扶養家族)への注文
- その人が働いている会社への注文
- その人が5%以上の株を持っている会社への注文
- 競合他社の副業
- ビジネスパートナーの副業

利益相反が発生した場合、監督者には、利益相反を回避または軽減する解決策を見つけるために協力するために、タイムリーに通知される必要があります。

贈収賄/腐敗

贈収賄/汚職とは、個人が提供する利益を受け入れること、またはそのような利益をビジネスパートナーまたは政府関係者に与えることを指し、そのような利益は受取人の決定に影響を与える可能性があります。したがって、それは厳密に禁止されています

- 他社の従業員または代表者に違法な個人的利益を提供、コミットまたは与えること
- 他人の助けを借りて贈収賄行為を行うこと
- 他人の贈収賄行為を支援すること
- 公務員に個人的な利益を提供、約束、または与えること
- 自分で違法な個人的利益を取得、約束、または受け入れること

ビジネスパートナーまたは公務員がそのような特典を提供または要求した場合、各従業員は、監督者、コンプライアンスオフィサー、またはマネージャーにタイムリーに通知する必要があります。

マネーロンダリング

マネーロンダリングの目的は、違法に稼いだお金または富を合法的な金融および経済サイクルに使用することです。これを防ぐために、あらゆる種類の資産は法的手段によってのみ取得できます。重要な現金での支払いには取締役の承認が必要です。お金を伴う匿名取引は禁止されています。疑わしいビジネスパートナーや取引は、スーパーバイザー、コンプライアンスオフィサー、または取締役に報告する必要があります。

ギフトと招待状

贈答品や招待状は、華美なく一般的な商慣行に従っている場合にのみ受け入れることができます。ビジネス上の意思決定への影響を排除できない場合、贈答品や招待状は受け入れられない可能性があります。ギフトの価格は、ギフトが適切かどうかを示します。その価値は各会社の内部規準にて規定されており、各会社の内部標準は規制されており、この量を超えてはなりません。関連する国内法を遵守する必要があります。

贈答品またはその他の寄贈品は、常に透明で開かれた方法で授受される必要があります。寄付を、与えたり、頼んだり、受け入れたりしないでください。政府関係者やその他の公務員に贈答品やその他の財産を与えてはなりません。

疑わしい場合は、監督者、コンプライアンス担当者、または経営陣と連絡を取り、書面による同意を得る必要があります。不適切な贈答品をスムースに拒否できない場合は、上記の措置を講じる必要があります。

競合他社/サプライヤー/顧客に対する行動

私たちは、常に独占禁止法を遵守します。これらには、とりわけ

- 価格、数量、条件は、競合他社と合意または調整してはなりません。
- 市場共有契約は許可されていません。
- 競合他社の秘密情報及び競合に関する秘匿情報の交換は禁止されています。
- 疑わしい場合は、排他的供給条項または非競争条項に関する合意を確認する必要があります。

独占禁止法は、競争を制限する書面による契約を禁止するだけでなく、口頭による合意またはその他の非公式の取引も禁止します。
疑わしい場合は、上司、コンプライアンスオフィサー、または経営陣に、対応する契約の独占禁止法の証拠の許容性を説明するために可及的速やかに行われる必要があります。
サプライヤーの選択は、価格、品質、パフォーマンスなどの客観的な条件に基づいて行う必要があります。意思決定において個人的および客観的な理由を考慮することなく、評価を公正かつ公平にレビューします。

脱税と補助金詐欺

Witzenmann は、税金を回避したり、不正を助成したりすることはなく、第三者へも働きかけません。疑問がある場合は、監督者および/または本社の中央財務および監査部門に連絡してください。

インポートとエクスポート

さまざまな国内および国際貿易管理法により、様々な商品またはサービスの輸入が制限または禁止されています。これらの制限は、対応する製品と原産国および仕向国に関連する場合があります。これらの制限は、商品やサービスを売買する際に厳守する必要があります。ご質問がある場合は、Witzenmann GmbHの物流部門または購買部門にお問い合わせください。

有形資産と知的財産を保護

すべての従業員は、企業財産の使用に責任を負い、損失、損傷、盗難、誤用、不正使用から保護する必要があります。会社の特定のリソース(コピー機や電話など)は、大きなコストが発生しない限り、個人的な目的で使用できます。

会社の財産は、管轄部署の明示的な同意なしに、私的な目的で使用したり、その場所から移動したりすることはできません。同様に、企業財産の売買に関する内部規制と法的要件を遵守する必要があります。関連するガイドラインを遵守する必要があります。

商業取引では、対象企業の価値や資産調査の内容を考慮する必要があります。機会とリスクの包括的な分析に基づいて決定を下す必要があります。主要な商取引を行う際には、二重検証の原則に従う必要があり、取締役は指示を与える際にこの原則に従う必要があります。

会社の知的財産と機密情報は厳重に保護されています。様々な情報の選別や如何にカテゴライズされるべきかを定めたITガイドラインも参考になるでしょう。従業員が仕事中に学ぶ他のすべての機密情報と同様に、企業秘密も機密にすべきです。そのような情報は、第三者または無関係な従業員への開示を避けるために適切な方法で保護されるべきです。これは特に、サプライヤ、顧客、従業員、ビジネスパートナー、およびその他の第三者に関する情報、および社内情報に適用されます。雇用関係の終了後も、従業員には守秘義務があります。

Witzenmannは、第三者の機密保持義務も考慮します。機密情報を開示できるかどうかわからない場合は、上司に問い合わせてください。

データ保護とITおよびデータセキュリティ

個人情報はデータ保護法に則って、収集、処理、使用されることがあります。ITシステムの重要性が高く、ウイルス、ネットワークの混乱、ITシステムへのハッカーに対する脅威が増大し、経済犯罪の頻度が増加しているため、すべての従業員はITシステムを使用するときは常にセキュリティに注意する必要があります。すべての従業員は、ITセキュリティガイドラインを遵守する必要があります。

WITZENMANN行動規範の違反

Witzenmann行動規範は、全員が責任を持って誠実に行動できるようにするための拘束力のあるガイドラインを提供します。必要ならば、テーマ別または特定の国別の規制とトレーニングコースによって補足されます。すべての従業員及びマネージャーは、業務に必要な他のガイドライン同様に、ウイツエンマンの行動規範を知り、理解する個人の責任があります。適切な規制、内部規制、またはウイツエンマン行動規範に違反するマネージャーおよび従業員は、規律を守らなければならず、法的結果をもたらす可能性があります。

行動規範について質問またはコメントがある場合、または行動規範の適用および解釈について疑問がある場合は、上司、監督者、担当部門またはコンプライアンス担当者に連絡してください。苦情がある場合、または行動規範に違反する可能性がある兆候が認められた場合は、直属の上司に連絡する必要があります。Witzenmann行動規範の特定の条項を監督者と十分に話し合えない場合は、上位レベルの監督者に連絡する権利があります。コンプライアンスオフィサー、会社のマネージングディレクター、またはWitzenmann GmbHのマネージングディレクターにいつでも連絡することもできます。外部の人は、メールアドレス Compliance@witzenmann.com から情報を送信することもできます。

行動規範違反の兆候に関する苦情及び提案は、外部の代表者であるChristian Brenner氏(電話番号 0711-16445-430)に匿名および/または内密に報告することもできます。

行動規範違反を誠実に報告する従業員に心配もしくは否定的な結果となることはありません。

Witzenmannの取締役会